



## 2008年3月期 第3四半期財務・業績の概況

(平成20年3月期)

2008年2月7日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

上場取引所 東大名福札

コード番号 2914

URL <http://www.jti.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 木村 宏

問合せ先責任者 常務執行役員コミュニケーション責任者 志水 雅一 TEL (03) 3582-3111

(百万円未満切捨て)

## 1. 2008年3月期第3四半期の連結業績 (2007年4月1日 ~ 2007年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2008年3月期 第3四半期	4,704,275	29.3	366,769	34.1	328,631	19.1	221,851	14.7
2007年3月期 第3四半期	3,637,470	2.5	273,459	8.6	276,026	13.3	193,485	18.0
2007年3月期	4,769,387	—	331,991	—	312,044	—	210,772	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
2008年3月期 第3四半期	23,157.54	—
2007年3月期 第3四半期	20,196.69	—
2007年3月期	22,001.10	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2008年3月期 第3四半期	5,050,134	2,161,636	41.4	218,275.53
2007年3月期 第3四半期	3,405,521	1,994,823	56.7	201,565.80
2007年3月期	3,364,663	2,024,615	58.3	204,617.68

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2008年3月期 第3四半期	207,696	△1,581,192	420,257	259,943
2007年3月期 第3四半期	349,869	20,378	△29,400	1,264,022
2007年3月期	435,958	△149,692	△32,634	1,179,522

## 2. 2008年3月期の連結業績予想(2007年4月1日～2008年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,410,000	34.4	422,000	27.1	363,000	16.3	246,000	16.7	25,678.28

## 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 有  
新規 7社  
社名: Gallaher Group Plc、Gallaher Ltd.、Austria Tabak GmbH、Gallaher Capital Ltd.、  
Gallaher Europe Finance、Harrigan Ltd.、  
HABET Handels-Beteiligungsgesellschaft mbH & Co. KG Nahrungs- und Genußmittel
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無: 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無: 無

(注) 詳細は、8ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期連結業績予想につきましては、2007年10月31日に公表いたしました前回予想から修正しております。修正に関する事項につきましては、7ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、7ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」、8ページ及び「2008年3月期 第3四半期財務・業績の概況 添付資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 全般的概況

## 当第3四半期(2007年4月1日～2007年12月31日)の業績

当社グループは、2006年5月に策定した中期経営計画「JT2008」に沿った施策を着実に実行し、将来に亘る持続的な成長の実現に向け取り組んでおります。

2007年8月9日には、当社グループの海外たばこ事業を担う JT International と4月に買収を完了した Gallaher との統合計画を発表いたしました。事業統合によるシナジー効果を早期かつ最大限に発揮できるよう、現在、統合計画に基づく諸施策の着実な実施に努めております。

なお、海外たばこ事業は、2007年1～9月の業績を当第3四半期の業績としており、2007年4月18日に買収を完了した Gallaher につきましては、4月18日以降9月30日までの業績を当第3四半期に含めております。

(注) 当第3四半期財務・業績の概況において、Gallaher Group Plc を「Gallaher 社」、Gallaher Group Plc を含む Gallaher グループについては「Gallaher」と表記しております。

## 売上高

国内たばこ事業における販売数量の減少があったものの、海外たばこ事業において Gallaher を連結したこと等により、売上高は前年同期比1兆668億円増収の4兆7,042億円(前年同期比29.3%増)となりました。

	2007年3月期 第3四半期 (億円)	2008年3月期 第3四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	36,374	47,042	10,668	29.3
国内たばこ事業	26,249	25,948	△301	△1.1
海外たばこ事業	7,424	18,253	10,829	145.9
医薬事業	360	397	37	10.3
食品事業	2,185	2,277	92	4.2
その他事業	155	165	10	6.8

※ 外部売上高で表示しております。

## 営業利益

国内たばこ事業における原材料費及び販売促進費の増加等があるものの、海外たばこ事業において Gallaher を連結したこと等により、営業利益は前年同期比933億円増益の3,667億円(前年同期比34.1%増)となりました。

	2007年3月期 第3四半期 (億円)	2008年3月期 第3四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	2,734	3,667	933	34.1
国内たばこ事業	1,967	1,821	△146	△7.4
海外たばこ事業	709	1,740	1,031	145.5
医薬事業	△73	△43	30	—
食品事業	66	56	△9	△14.9
その他事業	67	88	20	30.8
消去又は全社	△2	3		

## 経常利益

Gallaher 買収に伴い増加した借入金や社債に係る支払利息の増及び為替差損の発生等により、営業外損益は悪化したものの、経常利益は前年同期比526億円増益の3,286億円(前

年同期比 19.1%増) となりました。

#### 四半期純利益

成人識別自販機導入費用の増加、連結子会社の保有する投資有価証券の評価損の発生等があるものの、四半期純利益は前年同期比 283 億円増益の 2,218 億円 (前年同期比 14.7%増) となりました。

### ②事業別の概況

#### [国内たばこ事業]

国内たばこ事業につきましては、当社グループの利益創出の中核として位置づけております。国内市場における総需要の減少、競合他社との競争激化により、事業環境は一層厳しさを増しております。当社としては、トップライン成長に向けて、既存ブランドの必要な刷新・強化に加え、効果的な新製品の投入も行い、シェア反転に努めております。また、生産性の向上につきましても、不断の取り組みを行っております。

2007年7月からは、ブランド戦略を担っているマーケティング部門と各地域で販売促進活動を担っている営業部門を統合し、地域特性に応じたマーケティング体制の構築を図っております。

当第3四半期においては、中核ブランドであるマイルドセブン・ファミリーの新製品投入や既存ブランドの育成に注力し、ブランド価値の向上に努めました。具体的には、2007年7月に「マイルドセブン・アクア・メンソール・スーパーライト・ボックス」を、12月にD-spec製品(当社独自の「たばこの先から立ち上るにおいを抑える」低臭気技術を活用した製品)「マイルドセブン・ディースペック・スーパーライト・ボックス」を全国で新発売するとともに、6月に発売30周年を迎えた「マイルドセブン」のキャンペーンを引き続き実施する等、積極的な販売促進活動を行っております。

また、地域限定で発売していたD-spec製品「ピース・インフィニティ」を2007年10月より全国拡販するとともに、12月下旬より、キャスター・ファミリー全9銘柄のデザインを刷新し、ブランドイメージを統一しております。

なお、2008年2月上旬から地域限定で「セブンスター・ライト・メンソール」を新発売いたしました。

当第3四半期における紙巻たばこの販売数量は、総需要の減少により、前年同期に対し60億本減少し、1,295億本(注)(前年同期比4.5%減)となったものの、積極的な販売促進活動の実施や新製品の投入等により、シェアは64.9%となりました。また、千本当税抜売上高は、定価改定に伴う販売単価の上昇により、前年同期に対し86円増加し、4,057円となりました。

この結果、売上高は、販売数量の減少により、前年同期比301億円減収の2兆5,948億円(前年同期比1.1%減)、営業利益は、原材料費及び販売促進費の増加等により、前年同期比146億円減益の1,821億円(前年同期比7.4%減)となりました。

(注) 国内たばこ事業の販売数量には、当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第3四半期における販売数量27億本があります。

#### [海外たばこ事業]

海外たばこ事業につきましては、トップライン成長に努め、当社グループの利益成長の牽引役としての役割を更に拡大させてまいります。また、JT International と Gallaher との事業統合において強力にバランスのとれたブランド・ポートフォリオを実現する等、トップラインシナジーの追求に取り組む一方、コストダウンシナジーの創出に向けた取り組みも着実に進めております。

グローバル・フラッグシップ・ブランド(以下「GFB」)については、新たに8ブランド(「ウインストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」)を選定しております。新たなブランド・ポートフォリオ

の根幹を支える GFB を中心に、トップライン成長の機会を積極的に追求してまいります。

当第 3 四半期における紙巻たばこの販売数量は、Gallaher を連結したことに加え、「ウィンストーン」がロシア、ウクライナ、スペイン、トルコで、「キャメル」がスペイン、フランス、イタリア、ロシアで伸張したことにより、前年同期に対し 958 億本増加し、2,740 億本（前年同期比 53.8%増）となりました。なお、GFB の販売数量は、1,459 億本となりました。

この結果、売上高は、前年同期比 1 兆 829 億円増収の 1 兆 8,253 億円（前年同期比 145.9%増）、営業利益は前年同期比 1,031 億円増益の 1,740 億円（前年同期比 145.5%増）となりました。

※ 当第 3 四半期の為替レートにつきましては 1 US ドル=119.41 円、前年同期の為替レートにつきましては 1 US ドル=115.90 円です。

## 〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、将来における柱事業を目指し、事業価値増大の早期実現に向け、臨床開発品の着実なステージアップと研究開発パイプラインの充実に努めております。開発状況としましては、糖尿病治療薬「JTT-551」の開発を中止いたしました。肥満症治療薬「JTT-553」、糖尿病治療薬「JTT-651」、C 型肝炎治療薬「JTK-652」、鎮痛薬・過活動膀胱治療薬「JTS-653」の臨床試験段階への移行により、自社開発品 10 品目が臨床試験の段階にあります。

また、導出・導入機会の戦略的な探索にも引き続き取り組んでおります。2007 年 9 月には、ケリックス・バイオフィーマシューティカルズ社と、同社が米国で第 II 相臨床試験を実施中の高リン血症治療薬について、日本における独占的開発・商業化権を取得するライセンス契約を、子会社鳥居薬品(株)とともに締結いたしました。

鳥居薬品(株)につきましては、主力品である蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」、肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「強力ネオミノファーゲンシー」の売上高が減少しましたが、外用副腎皮質ホルモン剤「アンテベート」及び抗 HIV 薬「ツルバダ錠」等が伸張したことから増収となりました。

この結果、売上高は、ピラセプトロイヤリティの減収等があったものの、2004 年 10 月にロシュ社へ導出した脂質代謝異常治療薬「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入や、鳥居薬品(株)における増収により、前年同期比 37 億円増収の 397 億円（前年同期比 10.3%増）となりました。利益面では、ケリックス・バイオフィーマシューティカルズ社からの高リン血症治療薬の導入に伴う契約一時金を含めた研究開発費の増加等があったものの、営業損失は 43 億円（前年同期は 73 億円の営業損失）となりました。

## 〔食品事業〕

食品事業につきましては、当社グループの柱事業として、飲料事業、加工食品事業（冷凍加工食品、ベーカリー、チルド加工食品、常温加工食品）、調味料事業の 3 分野に注力し、競争優位性の確立へ取り組むとともに、総合食品メーカーとしての基盤確立に努めております。

飲料事業におきましては、自動販売機オペレーターである子会社(株)ジャパンビバレッジを中心とした着実な拡大を図るとともに、基幹ブランドである「ルーツ」を中心に、差別化を徹底的に追求した新製品等を積極的に開発・投入いたしました。

加工食品事業におきましては、市販用冷凍食品の「お弁当大人気！」シリーズ、「いまだき和膳」シリーズ等のラインナップの充実・強化を図り、事業量の拡大及び収益力の強化に努めております。

調味料事業におきましては、当社独自の技術を活用した高核酸酵母エキス等の天然調味料の開発・販路拡大等を通じ、事業基盤の強化に取り組んでおります。

この結果、売上高は、飲料事業における自動販売機販路の拡大等により、前年同期比 92 億円増収の 2,277 億円（前年同期比 4.2%増）となりました。一方、営業利益は、原材料費の増加等により、前年同期比 9 億円減益の 56 億円（前年同期比 14.9%減）となりました。

なお、当社は、2007 年 11 月 22 日、(株)加ト吉及び日清食品(株)との間で、当社の冷凍食品事

業と日清食品(株)の冷凍食品事業を(株)加ト吉に移管し、3社における冷凍食品事業を統合することについて、合意いたしました。しかしながら、子会社であるジェイティフーズ(株)が輸入販売する冷凍食品に端を発した現下の情勢に鑑み、(株)加ト吉、日清食品(株)及び当社の3社で協議をした結果、当該統合に係る日清食品(株)との関係を、合意の上解消することを決定し、2008年2月6日に公表いたしました。

また、当社は、(株)加ト吉の株式を2007年11月28日から同年12月26日までの期間に行った公開買付けにより、93.88%保有しておりますが、この合意を受け、必要な手続きを経た上で、早い段階で同社を100%子会社とする予定です。

(株)加ト吉については、2008年1月8日より、当社の連結子会社となっております。

### 〔その他事業〕

その他事業につきましては、不動産賃料収入の増加等により、売上高は前年同期比10億円増収の165億円(前年同期比6.8%増)、営業利益は、前年同期比20億円増益の88億円(前年同期比30.8%増)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における連結ベースでの現金及び現金同等物は、前年度末に比べ9,195億円減少し、2,599億円となりました(前年同期末残高1兆2,640億円)。

### 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,076億円の収入(前年同期は3,498億円の収入)となりました。これは、たばこ事業によるキャッシュ・フローの創出力が、Gallaherが加わることによりさらに高まった一方、金融機関の休日の影響から前年同期の国内たばこ事業に係るたばこ税の支払額が当第3四半期に比べ1ヶ月分相当額少なかった一時的な影響等によるものです。

### 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、1兆5,811億円の支出(前年同期は203億円の収入)となりました。これは、主にGallaher社株式を取得したことによるものです。

### 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、4,202億円の収入(前年同期は294億円の支出)となりました。これは、主にGallaher社株式取得に係る資金調達を目的として、社債の発行及び金融機関からの借入を実施したことによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、国内たばこ事業において総需要の減少により販売数量を下方に修正した一方、海外たばこ事業における伸張、医薬事業における「JTT-705」に係るマイルストーン収入の計上及び加ト吉グループの業績を取り込んだこと等から、前回予想から500億円上方修正いたします。

営業利益につきましては、売上高の修正を受けて、前回予想より170億円上方修正いたします。加ト吉の買収に伴い発生するのれんにつきましては、今年度より償却を行うこととなりますが、その金額の算定が未了のため今回の業績予想には織り込んでおりません。

経常利益につきましては、為替差損の発生を踏まえ、前回予想から70億円下方修正いたします。

当期純利益につきましては、連結子会社の保有する投資有価証券評価損の発生を織り込んだこと等から、前回予想よりさらに100億円下方修正いたします。

なお、子会社であるジェイティフーズ(株)が輸入販売する冷凍食品の一部から殺虫剤が検出され、自主回収を行っていることに関連する財務上の影響につきましては、今回の業績予想に織り込んでおりません。

2008年3月期の連結業績の見通しにつきましては、以下のとおりです。

	前回予想 (2007年10月31日公表)	今回予想	前回予想比増減
売上高	63,600億円	64,100億円	500億円
営業利益	4,050億円	4,220億円	170億円
経常利益	3,700億円	3,630億円	△70億円
当期純利益	2,560億円	2,460億円	△100億円

#### ※通期の見通しの主な前提条件

##### 国内たばこ事業

	前回予想	今回予想
販売数量	1,680億本	1,670億本

##### 海外たばこ事業

	前回予想	今回予想 (2007年1月～12月実績)
販売数量	3,850億本	3,856億本
為替レート(1USドル)	118.00円	117.85円

(注) 上記の業績見通しの各数値は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいて算定しております。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いて算定したものです。将来の予想に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性等に照らし、現実の業績の数値は、上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績見通しのご利用にあたっては、「将来に関する記述等についてのご注意」も併せてご参照ください。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、2007年4月18日に Gallaher 社の発行済株式を取得し、これを完全子会社といたしました。これに伴い Gallaher 社を含む Gallaher の連結を開始しておりますが、この内、特定子会社に該当する会社は、2 ページに記載の 7 社です。

##### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間（連結）財務諸表の作成基準をベースに、法人税等の計上基準等において簡便的な方法を採用しております。

##### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2008年3月期 第3四半期財務・業績の概況 添付資料」に記載しております。

#### (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



## 5. (要約)四半期連結財務諸表

## (要約) 第 3 四 半 期 連 結 貸 借 対 照 表

(単位:百万円)

科 目	期 別		前連結会計年度末 (2007年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2007年12月31日)		増減金額
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
( 資 産 の 部 )							
流 動 資 産	1,840,808	54.7	1,299,122	25.7	△ 541,685		
現金及び預金	555,653		211,562		△ 344,090		
受取手形及び売掛金	149,384		354,960		205,576		
有価証券	578,066		40,539		△ 537,527		
たな卸資産	417,276		554,202		136,925		
その他の貸倒引当金	141,966		141,336		△ 630		
	△ 1,539		△ 3,478		△ 1,939		
固 定 資 産	1,523,855	45.3	3,751,012	74.3	2,227,157		
有形固定資産	600,435	17.9	722,208	14.3	121,772		
建物及び構築物	229,019		263,282		34,263		
機械装置及び運搬具	152,900		213,690		60,789		
土地	131,817		140,700		8,882		
その他の	86,698		104,535		17,837		
無形固定資産	542,880	16.1	2,725,228	54.0	2,182,347		
のれん	360,681		2,051,819		1,691,137		
商標	154,980		634,416		479,435		
その他の	27,218		38,991		11,773		
投資その他の資産	380,538	11.3	303,575	6.0	△ 76,962		
投資有価証券	262,616		138,398		△ 124,217		
その他の	119,520		166,568		47,048		
貸倒引当金	△ 1,230		△ 1,163		66		
投資評価引当金	△ 368		△ 227		140		
資 産 合 計	3,364,663	100.0	5,050,134	100.0	1,685,471		

## (要約) 第 3 四 半 期 連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

科 目	期 別		前連結会計年度末 (2007年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2007年12月31日)		増減金額
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
( 負 債 の 部 )				%		%	
<b>流 動 負 債</b>	<b>813,196</b>	<b>24.2</b>	<b>1,588,082</b>	<b>31.4</b>	<b>774,886</b>		
支払手形及び買掛金	129,764		158,335		28,570		
短期借入金	53,706		422,443		368,737		
一年以内返済予定の長期借入金	10,549		534		△ 10,015		
未払たばこ税	134,573		288,537		153,964		
未払たばこ特別税	21,991		23,578		1,586		
未払地方たばこ税	181,374		193,932		12,557		
引当金	31,309		22,787		△ 8,522		
その他	249,925		477,933		228,008		
<b>固 定 負 債</b>	<b>526,851</b>	<b>15.6</b>	<b>1,300,415</b>	<b>25.8</b>	<b>773,563</b>		
社債	150,000		703,622		553,622		
長期借入金	5,012		91,144		86,132		
退職給付引当金	282,377		297,657		15,280		
役員退職慰労引当金	1,017		642		△ 375		
その他	88,443		207,347		118,904		
<b>負 債 合 計</b>	<b>1,340,047</b>	<b>39.8</b>	<b>2,888,498</b>	<b>57.2</b>	<b>1,548,450</b>		
( 純 資 産 の 部 )							
<b>株 主 資 本</b>	<b>1,920,159</b>	<b>57.1</b>	<b>2,089,619</b>	<b>41.4</b>	<b>169,460</b>		
資本金	100,000	3.0	100,000	2.0	—		
資本剰余金	736,400	21.9	736,400	14.6	—		
利益剰余金	1,158,337	34.4	1,327,797	26.3	169,460		
自己株式	△ 74,578	△ 2.2	△ 74,578	△ 1.5	—		
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>40,094</b>	<b>1.2</b>	<b>1,477</b>	<b>0.0</b>	<b>△ 38,617</b>		
その他有価証券評価差額金	33,329	1.0	28,048	0.6	△ 5,280		
繰延ヘッジ損益	14,580	0.4	493	0.0	△ 14,086		
海外連結子会社の年金債務調整額	△ 15,560	△ 0.5	△ 15,079	△ 0.3	480		
為替換算調整勘定	7,745	0.3	△ 11,985	△ 0.3	△ 19,730		
<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>64,362</b>	<b>1.9</b>	<b>70,539</b>	<b>1.4</b>	<b>6,177</b>		
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>2,024,615</b>	<b>60.2</b>	<b>2,161,636</b>	<b>42.8</b>	<b>137,020</b>		
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>3,364,663</b>	<b>100.0</b>	<b>5,050,134</b>	<b>100.0</b>	<b>1,685,471</b>		

## (要約) 第 3 四 半 期 連 結 損 益 計 算 書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)		当第3四半期連結会計期間 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)		増減金額	対前年四半 期連結会計 期間増減率	前連結会計年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	
	金 額	百分比	金 額	百分比			金 額	百分比
売 上 高	3,637,470	100.0	4,704,275	100.0	1,066,805	29.3	4,769,387	100.0
売 上 原 価	2,930,596	80.6	3,821,389	81.2	890,792	30.4	3,844,768	80.6
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>706,873</b>	<b>19.4</b>	<b>882,886</b>	<b>18.8</b>	<b>176,013</b>	<b>24.9</b>	<b>924,619</b>	<b>19.4</b>
販売費及び一般管理費	433,413	11.9	516,116	11.0	82,703	19.1	592,628	12.4
<b>営 業 利 益</b>	<b>273,459</b>	<b>7.5</b>	<b>366,769</b>	<b>7.8</b>	<b>93,310</b>	<b>34.1</b>	<b>331,991</b>	<b>7.0</b>
営業外収益	17,425	0.5	20,571	0.4	3,146	18.1	16,033	0.3
受 取 利 息	6,808		10,314		3,506		10,384	
受 取 配 当	1,497		3,409		1,911		1,718	
為 替 差 益	5,730		—		△ 5,730		—	
そ の 他	3,388		6,847		3,458		3,930	
営業外費用	14,858	0.4	58,709	1.2	43,851	295.1	35,980	0.8
支 払 利 息	4,793		29,976		25,183		6,939	
為 替 差 損	—		16,306		16,306		14,464	
たばこ災害援助金	3,530		2,008		△ 1,521		3,504	
共 済 年 金 給 付 費	2,034		1,749		△ 285		2,713	
そ の 他	4,499		8,667		4,168		8,357	
<b>経 常 利 益</b>	<b>276,026</b>	<b>7.6</b>	<b>328,631</b>	<b>7.0</b>	<b>52,604</b>	<b>19.1</b>	<b>312,044</b>	<b>6.5</b>
特別利益	41,048	1.1	39,346	0.8	△ 1,702	△ 4.1	50,854	1.1
固 定 資 産 売 却 益	38,827		38,497		△ 330		47,506	
そ の 他	2,221		849		△ 1,371		3,348	
特別損失	13,241	0.3	23,841	0.5	10,599	80.1	25,703	0.5
固 定 資 産 売 却 損	2,923		2,345		△ 578		3,151	
固 定 資 産 除 却 損	4,310		4,271		△ 38		10,402	
減 損 損 失	1,306		2,204		897		2,712	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	—		6,935		6,935		—	
成 人 識 別 自 販 機 導 入 費 用	1,693		6,734		5,041		5,746	
そ の 他	3,008		1,349		△ 1,658		3,690	
<b>税金等調整前四半期(当期) 純 利 益</b>	<b>303,833</b>	<b>8.4</b>	<b>344,136</b>	<b>7.3</b>	<b>40,302</b>	<b>13.3</b>	<b>337,195</b>	<b>7.1</b>
法人税、住民税及び事業税	106,533	3.0	116,832	2.5	10,298	9.7	84,480	1.8
法 人 税 等 調 整 額	—	—	—	—	—	—	36,923	0.8
少 数 株 主 利 益	3,813	0.1	5,452	0.1	1,638	43.0	5,018	0.1
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>193,485</b>	<b>5.3</b>	<b>221,851</b>	<b>4.7</b>	<b>28,365</b>	<b>14.7</b>	<b>210,772</b>	<b>4.4</b>

## (要約) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別		増減金額	前連結会計年度	
	前第3四半期連結会計期間 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)	当第3四半期連結会計期間 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)		前連結会計年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	前連結会計年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
	金 額	金 額		金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>					
税金等調整前四半期(当期)純利益	303,833	344,136	40,302		337,195
減価償却費	95,595	118,165	22,569		130,105
減損損失	1,306	2,204	897		2,712
固定資産除売却損益	△ 33,036	△ 34,690	△ 1,654	△	△ 39,284
のれん償却額	2,053	1,296	△ 756	△	2,537
投資有価証券評価損	—	6,935	6,935		—
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 9,489	△ 8,385	1,103	△	△ 21,163
受取利息及び受取配当金	△ 8,305	△ 13,724	△ 5,418	△	△ 12,103
支払利息	4,793	29,976	25,183		6,939
売上債権の増減額(増加:△)	△ 40,247	△ 26,669	13,577	△	△ 9,476
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 26,635	△ 17,306	43,941	△	△ 6,171
仕入債務の増減額(減少:△)	4,119	△ 1,979	△ 6,098	△	△ 12,877
未払金の増減額(減少:△)	△ 30,712	△ 42,850	△ 12,138	△	△ 22,087
未払たばこ税等の増減額(減少:△)	191,392	△ 7,722	△ 199,115	△	160,020
その他	△ 54,930	△ 49,076	5,853	△	△ 28,781
<b>小 計</b>	<b>399,736</b>	<b>334,921</b>	<b>△ 64,814</b>	<b>△</b>	<b>487,566</b>
利息及び配当金の受取額	8,445	16,560	8,115		12,071
利息の支払額	△ 4,921	△ 31,808	△ 26,887	△	△ 6,493
法人税等の支払額	△ 53,392	△ 111,977	△ 58,585	△	△ 57,185
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>349,869</b>	<b>207,696</b>	<b>△ 142,172</b>	<b>△</b>	<b>435,958</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>					
有価証券の取得による支出	△ 330,492	△ 20,516	309,975	△	△ 330,715
有価証券の売却及び償還による収入	381,269	3,721	△ 377,547	△	386,189
有形固定資産の取得による支出	△ 69,084	△ 82,727	△ 13,643	△	△ 96,717
有形固定資産の売却による収入	46,778	44,492	△ 2,286	△	57,093
無形固定資産の取得による支出	△ 6,276	△ 4,773	1,503	△	△ 7,927
投資有価証券の取得による支出	△ 1,601	△ 3,711	△ 2,110	△	△ 158,385
連結範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 4,049	△ 1,520,967	△ 1,516,917	△	△ 4,085
連結範囲変更を伴う子会社株式の売却による支出	△ 387	—	387	△	△ 387
その他	4,222	3,290	△ 932	△	5,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>20,378</b>	<b>△ 1,581,192</b>	<b>△ 1,601,571</b>	<b>△</b>	<b>149,692</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>					
短期借入金の純増減額(減少:△)	11,663	327,419	315,755		18,571
長期借入れによる収入	—	80,000	80,000		—
長期借入金の返済による支出	△ 10,271	△ 91,212	△ 80,941	△	△ 19,840
社債の発行による収入	—	149,723	149,723		—
少数株主からの払込による収入	4,927	—	△ 4,927	△	4,927
配当金の支払額	△ 34,488	△ 42,152	△ 7,664	△	△ 34,488
少数株主への配当金支払額	△ 1,004	△ 2,626	△ 1,621	△	△ 1,474
その他	△ 227	△ 893	△ 666	△	△ 330
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 29,400</b>	<b>420,257</b>	<b>449,658</b>	<b>△</b>	<b>32,634</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>3,033</b>	<b>33,659</b>	<b>30,625</b>		<b>5,749</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	<b>343,880</b>	<b>△ 919,578</b>	<b>△ 1,263,459</b>	<b>△</b>	<b>259,380</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>920,141</b>	<b>1,179,522</b>	<b>259,380</b>		<b>920,141</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>	<b>1,264,022</b>	<b>259,943</b>	<b>△ 1,004,078</b>	<b>△</b>	<b>1,179,522</b>

## 【セグメント情報】

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(2006年4月1日から2006年12月31日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部売上高	2,624,929	742,445	36,061	218,501	15,532	3,637,470	—	3,637,470
(2)セグメント間内部 売上高又は振替高	31,852	17,863	—	91	17,120	66,927	(66,927)	—
計	2,656,781	760,308	36,061	218,592	32,653	3,704,397	(66,927)	3,637,470
営業費用	2,459,992	689,404	43,448	211,936	25,882	3,430,665	(66,654)	3,364,010
営業利益又は営業損失(△)	196,788	70,904	△ 7,387	6,656	6,770	273,732	(272)	273,459

当第3四半期連結会計期間(2007年4月1日から2007年12月31日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部売上高	2,594,819	1,825,350	39,773	227,741	16,591	4,704,275	—	4,704,275
(2)セグメント間内部 売上高又は振替高	36,400	27,484	—	96	18,542	82,523	(82,523)	—
計	2,631,220	1,852,834	39,773	227,837	35,133	4,786,799	(82,523)	4,704,275
営業費用	2,449,047	1,678,768	44,156	222,173	26,280	4,420,427	(82,921)	4,337,506
営業利益又は営業損失(△)	182,172	174,066	△ 4,383	5,664	8,852	366,371	397	366,769

前連結会計年度(2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部売上高	3,416,273	999,658	45,452	286,554	21,448	4,769,387	—	4,769,387
(2)セグメント間内部 売上高又は振替高	45,005	26,354	—	109	25,876	97,346	(97,346)	—
計	3,461,278	1,026,013	45,452	286,663	47,325	4,866,733	(97,346)	4,769,387
営業費用	3,215,891	944,928	56,659	279,958	37,993	4,535,430	(98,034)	4,437,396
営業利益又は営業損失(△)	245,387	81,085	△ 11,206	6,704	9,331	331,302	688	331,991

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品(商品又は役務を含む)

- (1) 国内たばこ…製造たばこ(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)
- (2) 海外たばこ…製造たばこ
- (3) 医薬…医薬品
- (4) 食品…清涼飲料水、加工食品
- (5) その他…不動産賃貸、リース、エンジニアリング他

3. 営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりです。

減価償却費(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は全社	連結
前第3四半期連結会計期間	58,955	22,861	2,214	2,866	9,130	96,028	(433)	95,595
当第3四半期連結会計期間	61,684	43,096	2,433	2,955	8,715	118,884	(719)	118,165
前連結会計年度	79,964	31,583	3,009	3,893	12,254	130,705	(600)	130,105

のれん償却額

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
前第3四半期連結会計期間	845	—	—	1,207	—	2,053
当第3四半期連結会計期間	816	—	—	480	—	1,296
前連結会計年度	1,117	—	—	1,419	—	2,537

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク(株)を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか、外国たばこ製品(輸入たばこ製品)の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりです。

(単位:百万円)

前第3四半期連結会計期間	933,332
当第3四半期連結会計期間	921,296
前連結会計年度	1,216,248

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社グループの年度決算日は12月31日であり、2007年1月1日から2007年9月30日までを当第3四半期連結会計期間に計上しております。

なお、当社が2007年4月18日に取得し連結子会社としているGallaherの第3四半期決算日は9月30日であり、2007年4月18日から2007年9月30日までを当第3四半期連結会計期間に計上しております。